

第1回統合北上中学校建設に係る説明会 報告書

【開催概要】

期 日	令和5年3月29日（水）18：30～19：40
場 所	北上市役所本庁舎5階第1～3会議室
出席者	学校教員、PTA、地域、市議、報道等 計43名

【内容】

1 開 会 （進行：教育部総務課長）

2 挨 拶

（教育長）

年度末のお忙しい中、説明会へ参加いただきありがとうございます。

まず、今回の説明会に至った理由について説明します。2月10日に、建設工事設計業務に係るプロポーザルを実施し、設計業者を選定した。その後2月27日に、6地区（黒東、黒西、立花、黒岩、口内、稲瀬）の自治協議会会長から、「浸水に関するハザードマップの資料提供が不十分であり、適正な審査が行われなかったため、審査やプロポーザルのやり直しを求める」という要望書が、市と市議会に提出された。その要望に対し市としては、適正な審査が実施されたことから、再審査等はないと判断した。また、市議会から3月通常会議において、北上中学校建設について、ハザードマップの正しい理解促進に努め、住民やPTA等関係者との対話を大切にし、理解を得ながら進めることという付帯決議がなされた。このような経緯から、急な日程ではあるが、より多くの皆さまのご理解を得るために、今回説明会を開催するもの。

本日は様々な説明をさせていただき、率直なご意見を伺いたい。

3 説 明

プロポーザルの経過と結果について

（資料に基づき、事務局から説明）

(1) 北上中学校建設工事設計業務委託採択候補者選定までの経過

・ハザードマップを活用した避難の基本的な考え方

- (2) プロポーザル評価項目における安全対策について
- (3) 提案内容について

4 意見交換

(意見交換①)

- ・今回の説明会の趣旨は、どのようなものか。この短時間で資料の内容を理解するのは難しいと思う。

→ (教育部長) プロポーザルに関する6地区自治協議会会長からの要望書において、浸水対策に関し、情報提供や審議が不十分であるという意見があった。まずはその要望に対する市の回答について、経緯も含めた内容の共有を目的としている。また、水害対策の詳細等について、短時間で理解することは難しいとのことであるが、今回意見交換をしながら、より良い学校建設に少しでも繋がるよう、可能な限り理解を深める場としたいと考え、開催したものの。

→ (発言者) 審議のやり直しが議論になっているようだが、プロポーザル選定委員会の選出方法は、これまでと何か違っていたのか。また、私も一保護者として北上中学校の新築を楽しみにしている。PTA等とのやり取りを密にということについて、PTAで集まって相談する時間を考慮してもらいながら、進めてもらいたい。

→ (教育部長) プロポーザル選定委員会の選出方法について、行政側として市1名・教育委員会1名、これまで1名だった建築の専門家(大学の先生)は2名、そして地域の代表1名、これまでと同様に、校長会1名、学校PTA1名。建築の専門家については、新しい時代の学びに基づく学校施設整備指針の改定に対応した学校とするため、1名追加したもの。

また、PTAとのやり取りについては、ワークショップ等で参加者から意見を頂戴しつつ、それらを持ち帰って他のPTAの意見を吸い上げていただいたうえで、次回のワークショップで発言いただくという進め方ができるので、様々な方の意見を聞きながら、より良い学校を目指していきたい。

→ (教育長) 今後について、ワークショップを進めていくためにも、小学校PTAや学校関係者等も含めた統合北上中学校建設推進委員会拡大版を4月すぐにでも開催し、今回参加できなかった方へ説明をして、次の段階へ進みたい

と考えている。

→（発言者）子どもたちにとってより良い環境となれば何よりであり、素敵な中学校にしてもらいたい。

（意見交換②）

- ・私には中学生と小学生の子どもがいるのだが、プロポーザルがあったことすら知らなかった。学校から情報が伝わる流れがあれば良かったと思う。私は以前、東陵中学校の将来を考える会に参加しており、そのときに建替えという話がでて、それ以来楽しみにしていた。これから進めるに当たり、中学校のPTAは令和8年度には卒業となるので、小学校の児童やPTAも交えて進めてもらいたい。

また、浸水の関係で、校舎の建替え後の高さがわからないので、どのように想定しているのか説明してもらえれば皆安心できると思う。

→（教育部長）プロポーザルについて、周知が不十分となり陳謝申し上げる。

また、今回の説明会のように小学校のPTAとも協議しながら進めていかなければならないと考えている。

浸水に関して、事業者が想定している位置は最も浸水深が高いエリアであり、先ほどハザードマップでご覧いただいたとおり、150年に1回の確率で発生する雨量では約1.0m、想定し得る最大規模である1,750年に1回の確率で発生する雨量では約2.2mとなっている。事業者からの提案内容は、グラウンドへ約1m土盛りをし、現在の校舎と同等の高さにするというもの。150年に1回の確率で発生する水害については、この土盛りにより対応可能な見通しである。今後のワークショップを通じて、基礎高も含めてどのレベルに対応していくのかしっかり検討し判断していく。なお、約1mの土盛りでは1,750年に1回の確率で発生する雨量による浸水深約2mには足りないが、プロポーザル審査会においては、水害を含めた災害対策全般や、日常利用も含めた総合的な使い勝手に関する視点で議論された。

（意見交換③）

- ・肢体不自由や、車イスを利用する生徒への配慮はどのように考えられているのか。トイレの配置や、昇降機を設置するのかということを確認したい。

→（事務局）現在の提案内容では、特別支援教室が職員室に隣接しており、目が

届きやすくなっている。多目的トイレを含めたトイレの配置については、特別支援教室の隣や、他の位置にも配置されている。また、3階建ての校舎が想定されているが、建築基準法に基づき設置が義務付けられていることや、使い勝手を考慮し、エレベータを設置する想定となっている。

→（教育部長）あくまで現段階での提案内容であり、今後のワークショップ等で詳細を検討したい。肢体不自由等へも配慮した施設として進めていく。

5 閉 会

（教育長）

- ・説明内容が多く、この場で内容を理解しきれない部分もあったかもしれない。
- ・今回ご意見を頂戴したとおり、小学校の意見もしっかり聞きながら進めていく。
- ・今回の事業者選定について、基礎的条件として令和8年4月に校舎と第1屋内運動場の供用開始としていたが、選定された事業者はそれに加えて武道場（第3屋内運動場）とプールも供用開始可能として提案された。これにより、既存の武道館やプールの解体をスムーズに行うことができるというメリットがある。水害対策に限らず総合的な評価を得て、最も高い点数と、審査員の順位比較での最高点を得たうえ、最終的に今回の事業者が選定された。
- ・今後も、様々な立場からご理解とご協力をいただきたい。